



二月に催す「モーツァルト・レクイエム演奏会」
(中日新聞社など後援)

今年、モーツァルトの生誕三百五十年に当たって、

別れ惜しむコンサート

老朽化などで、10月8日に閉館する熱田区の熱田神宮能楽殿の別れを惜しもうと、市民らが23日、「ありがとうコンサート」を能楽殿で催した＝写真。

閉館を知った市民らが「名古屋の伝統文化をはぐくんできた能楽殿でコンサートを行おう」と、実行委員会を作り、7月から準備を進めてきた。

熱田神宮 能楽殿 インド舞踊など披露

この日は、ヒノキ造りの本格舞台で、オカリナやバイオリンが演奏された。また、インド音楽や舞踊も披露され、観客を楽しませた。

実行委の世話人、石浦薫さんは「建物はなくなってしまうが、感動はいつまでもなくなる」と話した。

能楽殿は1955(昭和30)年に完成。名古屋能楽堂が開場するまで東海地方の唯一の能舞台として親しまれた。能舞台は三重県伊勢市の皇学館大に譲渡され、移築する方向で調整が進められている。